

ベンリー # 5 0

【 施 工 要 領 書 】

令和 2 年 10 月 27 日



二瀬窯業株式会社

1. 下地処理

- 1) 下地の脆弱部分や硬化不良部、劣化部位等は除去し、健全な下地を露出させ、水洗い清掃または高圧洗浄を行ってください。鉄筋が露出している場所、および発錆している場所は錆を除去し、防錆処理を行ってください。
 - 2) 施工面には水打ちを行い湿潤状態とし、余分な水分は除去して下さい。
- ※ 下地コンクリート等の乾燥が著しい場合や、打設前の水湿しが難しい場合等は、吸水調整(ユニレックス3.5倍希釈)の塗布を推奨します。

2. 材料の混練

- ※ ベンリー#50は硬化が早いので、少量ずつ使い切る量を練り混ぜてください。
- ・ 使い切る量の粉体を練りバチ(ボール等)に入れ、水を加え、軟度が耳たぶ程度になるように、均一に練り混ぜてください。
 - ・ 水量は粉体1kgにつき、160～176mL(1袋につき4.0～4.4L)です。

3. 塗り付け

- ・ 下地に十分にコテ圧をかけて材料をすり込んだ後、すぐに追いかけて所定の厚みになるように塗り付けてください。

4. 養生

- ・ 直射日光、通風や降雨に十分に注意し、必要に応じてシート養生等を行ってください。
- ・ 次工程までは、1日以上養生期間を設けてください。

注 意 事 項

- ・ 気温が3℃以下及び3℃以下になりそうな時は原則として施工を行わないでください。
- ・ ベンリー#50は硬化が早いので、少量ずつをできるだけ早く使用してください。
- ・ 固まりかけた材料は接着不良の原因となりますので、使用しないでください。
- ・ 直射日光や降雨などに十分注意し、養生は確実に行ってください。必要ならばシート養生などを行ってください。
- ・ 欠損部の鉄筋が露出してモルタルを厚付けする必要性が生じた場合などは、モルタルの落下を防止する処置を講ずることが重要ですので、この場合は現場監督者の指示に従ってください。
- ・ ベンリー#50の保管は、直射日光、湿気を避け、パレット等で地面から離して保管してください。